

か む い

『主体的に学び合い、
新しい自分へ
挑戦する子の育成』



～にににニ きらきら きびきび～

令和7年 1月31日発行

3学期もどうぞよろしくお願いいたします

校長 櫻井 啓子

1月15日(水)の3学期始業式に、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。久しぶりに見る子どもたちは、20日間の冬休みではありましたが、ひとまわり大きく成長したように感じられました。充実した毎日を過ごしてきたことと、うれしく思います。

1月20日(月)からスキー学習が始まっています。1年生以外はサンタプレゼントパークでの学習の1回目を終え、1年生は、グラウンドの雪山で学習をしているところです。今年は天候に恵まれ、子どもたちは十分にスキーを楽しむことができています。(気温が上がり、暑いくらいのようです。)今年度から、PTAの方にスキーやトイレの補助をお手伝いいただいています。外での活動は安全確保が重要ですので、延べ40名もの方のサポートをいただけて、学校として大変助かっており、感謝申し上げます。

さて、「学校における働き方改革」の推進について、お耳にされたことがあるかと思います。

令和6年12月に「教師を取り巻く環境整備に関する合意」(財務大臣・文部科学大臣合意)が締結されました。そこには、財務省と文部科学省が令和7年度予算について折衝する中で「学校における働き方を推進するため」という内容が盛り込まれました。

北海道教育委員会では「北海道アクション・プラン(第3期)」にて、「教職員の時間外在校時間を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする」と目標を示しています。本校の教員(道費職員フルタイム)の勤務時間は、「8時出勤、16時半退勤(休憩時間45分含む)」ですが、時間外在校等時間の削減に取り組んでいるものの、学校全体で目標を達成しているとはいえない状況が続いています。教職員が疲弊してしまうと、子どもたちも疲弊し、学校全体に悪影響を生じてしまいます。校長として、大きな学校課題として捉えているところです。

そもそも、学校における働き方改革の目的は、「自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、**子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること**」です。**子どもたちに向き合い、授業の質を高め、子どもたちも教員も互いに喜びや幸せを感じることができる学校**となるためです。「子どもたちのため」に、学校も変わることを求められているということに、皆様どうぞご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

2学期末に保護者の皆様からご協力をいただきました、後期の学校評価結果や地域の方々のご意見等を踏まえながら、また学校における働き方改革の推進の視点を含めて、現在、次年度の学校運営の改善と教育活動の充実に向けて、検討を進めているところです。目の前の子どもたちのために、新しい取組にも挑戦していきたいと考えています。

これからも子どもたちの健やかな成長のために、家庭・地域の皆様とともに、教職員一同、誠心誠意取り組んでまいります。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

■□■「神居地区青少年を守る会」発展的統合■□■

神居中校区4校(中学校1、小学校3)のPTA及び学校職員、市民委員会や警察、関係団体、民間企業等が集い、神居地区の子どもたちの健全育成のために連携を図ってきました「神居地区青少年を守る会」が、次年度より「神居中学校区学校運営協議会連絡会議」に発展的統合されることになりました。本会に、長年にわたり携われた皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。



年度末の学校評価

～かむいっ子のよりよい教育を目指して～

学校評価アンケートへのご協力
ありがとうございました。

令和6年度 学校評価（年度末）結果 実施日R6年12月					
項 目	評価項目	児童		保護者	
		R5	R6	R5	R6
徳育の面 にこにこ	学校に行くのは楽しい。	77%	88%	89%	90%
	時と場に応じたあいさつや正しい言葉づかいができています。	77%	93%	68%	95%
	友だちの良さを認め、仲良くしている。	93%	96%	89%	95%
	進んで仲間と関わり、自分の考えを深めたり、広げたりしている。		91%		
	自分の行動に責任をもち、最後までやり遂げることができる。	83%	88%	67%	93%
	人のために役立つ人間になりたいと思う。		96%		
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	80%	94%	85%	93%
	自分にはよいところや得意なことがあり、もっと伸ばそうとしている。	86%	93%	69%	85%
	人が困っているときは、進んで助けている。	85%	95%	83%	85%
	自分の目標、将来の夢や希望をもっている。	83%	88%	59%	98%
知育の面 きらきら	自分の行いを振り返り、次に生かそうとしている。	79%	90%	53%	98%
	学習のルール（準備・話し方・聞き方など）を守っている。	81%	91%		
	先生や友だちの話を聞き、行動することができる。	90%	95%	75%	88%
	思いついたことをそのまま話さず、しっかり考えて話すことができる。	76%	82%	44%	88%
	先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	84%	94%	73%	92%
	自分と違う意見について考えるのは楽しい。	81%	88%	53%	92%
	英語の学習が好きである。	82%	90%		
	勉強していることは分かる。	88%	94%	65%	68%
	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から学習に取り組んでいる。	77%	89%	39%	68%
	自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表することができる。		86%		
体育の面 きびきび	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。		86%		
	読書が好きである。	77%	77%	30%	71%
	家庭学習や宿題を毎日している。	76%	84%	73%	71%
	毎朝、朝ご飯を食べている。	69%	92%	63%	88%
	平日は、だいたい同じ時刻におきたり、ねだりしている。		81%		
	給食が好きだ。		91%		
	遊びや運動で、新しいことや初めてのことに挑戦することが楽しい。	86%	93%	75%	88%
	学校のきまりや公園のきまりなどを守っている。		95%		60%
	自他の安全に気を付けて生活している。	91%	96%	91%	
	自分の考えのもとに、進んで行動している。	85%	93%		60%
	進んで地域の人へあいさつをしている。		89%		
	地域のことを調べたり、地域や町内会の行事に参加したりするなど、地域の人と関わっている。		72%	87%	88%

【結果の考察】

- 児童は、自分の頑張りや成長を好意的に受け止めており、自己肯定感や自己有用感が高まっていることがうかがえます。
- 保護者においても、お子さんの成長を認め、温かく見守っている様子がうかがえます。
- ▲読書や家庭学習の習慣化については、継続して指導していく必要があります。

【保護者の皆様からのご意見を受けて】

- 学校の様子について、学校だよりやHP、通信等を通じて、より積極的な情報発信を行います。
- 児童のプライバシーに配慮する意識をより一層高めていきます。
- 児童や保護者への声掛けを通じて、感染症の予防に努めます。
- 各行事について、児童の資質・能力の伸長につながるような内容を、今後も検討していきます。
- 給食の提供物が変更になった場合について、より丁寧な説明と対応について検討します。
- 行事の日程について、今後もより良い方法を検討していきます。
- 学校評価について、児童の成長を、保護者と学校が協力して支援していくにはどのような評価項目が良いのか検討します。

日 曜	2月の行事予定
1 土	
2 日	
3 月	B日課 2・5年スキー学習 4年読み聞かせ
4 火	B日課 フレンドリー集会 1年スキー学習 児童教育相談④
5 水	児童教育相談⑤ 6年未成年者喫煙防止講座
6 木	B日課
7 金	新1年生一日入学・説明会 委員会⑧ フッ化物洗口
8 土	
9 日	
10 月	朝会
11 火	建国記念の日
12 水	P T A牛乳パック回収日
13 木	B日課 スクールカウンセラー来校日 1年スキー学習 神居中学校入学説明会
14 金	クラブ⑧ フッ化物洗口
15 土	
16 日	
17 月	学校諸費振替日 3年読み聞かせ
18 火	B日課
19 水	B日課 1・2年参観日
20 木	B日課 3・4年参観日 4年学年レク
21 金	B日課 5・6年参観日 フッ化物洗口
22 土	
23 日	天皇誕生日
24 月	振替休日
25 火	B日課 外国語活動サポーター来校日
26 水	
27 木	B日課
28 金	フッ化物洗口

体験から学ぶ



5年生 総合「ともに生きる」

本校の卒業生で、パラリンピック・アイススレッジホッケーの銀メダリストである永瀬充様が、5年生にお話をしてくださいました。

やっぱリクラブは楽しいな

神居小では、4～6年生の児童が希望のクラブに所属し、年8回の活動を楽しんでいます。好きなことに没頭できるだけでなく異学年とも交流できることもあり、貴重な時間となっています。今年度の活動はそろそろ終わりますが、先日、3年生が見学に来ていました。自分はどのクラブに入ろうか？と目を輝かせながら見学をしていました。



次号は、2月末に発行予定です！